

たて がみ しま たて がみ いわ
立神島と立神岩(波根町)



国道9号を久手町から波根町に向かって車で走ると、遠くに美しいコントラストの縞模様のある奇岩が見えてきます。この奇岩は、波根町の波根海岸にある「立神島」と「立神岩」と言います。

海から突き出ている烏帽子のように見える島を立神島と言ひ、海食崖の高さは約40mあります。立神島と対面するように海面から直角にそびえ立ち、きれいな白の縞模様の地層が見える岩を立神岩と言ひます。白い縞は凝灰岩でできており、高さは約80mあります。立神岩の先端部には立神灯台があり、近くの海上を往来する船舶の安全を見守っています。

夏の穏やかな海と冬の荒れる海の二つの顔を見せる日本海に対峙しながらも、いつも変わらない顔を見せる立神島と立神岩には、壮大さと包容力を感じます。波根町を見守る立神島と立神岩は波根町のランドマークであり、久手町からでも見ることでできる地元の景観の一つとなっています。

昨年の夏、波根海岸で漁火と海岸に並べたロウソクの灯りの風情を楽しむ夏の夕涼みイベント「キャンドルナイトin 波根海岸」を開催し、約千人もの客が訪れました。

地元の実行委員会では、波根町の地元住民参加型行事となることを目指し、今年も夏の開催に向けて進めていますので、この夏の思い出にぜひお越しください。

＝立神島・立神岩への行き方＝

県道波根久手線の「波根灘町」バス停から歩いて5分。

JR波根駅から歩いて10分。JR大田市駅から車で15分。

詳しくは、波根まちづくりセンター（☎0854-85-8625）まで



表紙 あの時～邇幣姫神社祭礼風景(昭和30年代・三瓶町池田)～

三瓶町池田の村田有郷さん(63歳)にお話を聞かせていただきました。浮布池の中之島に祀られている邇幣姫神社の、年に一度の例大祭で、たくさんの人が神楽を楽しんでいます。毎年7月15日の例大祭には、浮布池の水のご利益を受けている、池田や近隣の町から、たくさんの人が参るため、臨時バスが出ていました。当時は、カレンダーにも「池の宮祭り」と印刷されていたほどです。

例大祭では、田植囃子や神楽のほか、境内に土俵があり相撲も奉納されていました。また、70年前頃はヤマモモなどのモモ売りが祭りの風物詩だったそうです。前夜祭は、湖面を渡る風がとても心地良かったことを思い出します。また、打ち上げ花火もきれいでしたが、池田青年団の人たちが三瓶山頂から松明を持って下山し、その明りが浮布池の湖面に映る様子は、それはとても美しい情景でした。祭りの当日は、対岸のお旅所へ舟渡行を行っていました。今もこの祭りは受け継がれ、前夜祭では地元自治会による神楽や出店、例大祭では地元保存会による田植囃子などが行われています。



三瓶山と浮布池

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL：0854-82-1600 FAX：0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail：o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>

“おおだ”の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索